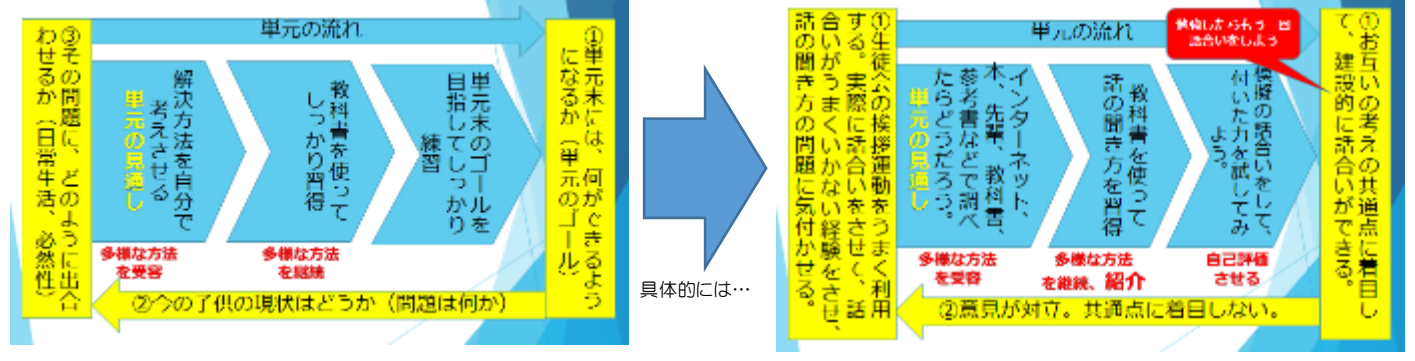


「広島版『学びの変革』アクションプラン」の全県実施となり1学期が終わろうとしています。体育大会などの行事で忙しい中ではありましたが、今学期2回の校内研究授業を行うことができました。先生方には、授業を見ていただく中で、本年度本校の研究主題である「**生徒が主体的に学びに向かう授業づくり～課題設定の工夫を通して～**」を意識しながら授業を行っていただいていることと思います。

夏休みは、1学期中の生徒の学びを振り返り、生徒のつまずきや2学期に行う単元の開発や教材研究に取り組んでいただけたらと思います。

課題発見・解決学習の単元モデルを再確認

6月25日の校内研修資料より



本校の取り組む単元計画を作成し、毎時間で生徒に付きたい力を整理していくという本校の取り組みと類似の部分も多くあります。2学期以降の授業で少しでも生きて働く知識となっていたらと思います。



25日の校内研究授業では、生徒が学びの主体者となるよう
掲示物の工夫やICT機器を用いた授業の工夫、また予想⇒実験⇒
考察⇒交流⇒再考といった授業スタイルで生徒の思考が深まるよう
流れを工夫されるなど各先生方が取り組んで下さいました。授業後の協議会でも熱心に話し合いを行いました。

今後の校内研修の予定は以下の通りとなっています。指導案作成など計画的に期限を厳守してよろしく願
いします。